

## I. 長崎県農林業基準技術の策定に伴う基本的な考え方

### 1. 経営類型策定の基本的な考え方

近い将来（おおむね 5 年後、2028 年）、実現可能な営農類型を想定し、この営農類型の農業所得目標を達成するための生産技術体系を示す。また、経営体の発展段階に応じ「所得 600 万円モデル」と「所得 1000 万円モデル」を示す。

#### 【所得 600 万円モデル】

- (1) 1 経営体当たりの農業所得目標は、おおむね 600 万円以上
- (2) 1 経営体当たりの家族労働力は 2~3 人
- (3) 主たる従事者 1 人当たり年間労働時間は、おおむね 2,000 時間

#### 【所得 1000 万円モデル】

- (1) 1 経営体当たりの農業所得目標は、おおむね 1000 万円以上
- (2) 1 経営体当たりの家族労働力は 2~3 人以上、雇用労働力は常時 1 人以上
- (3) 主たる従事者 1 人当たり年間労働時間は、おおむね 2,000 時間

### 2. 農林業基準技術の特色と内容

#### (1) 基準技術の特色

- ア ここ 5 年間で新たに開発・確立された品種、生産・飼養管理技術（表 1）を取り入れている。
- イ 新たに開発された機械・施設に関しては、今後、普及・定着が見込まれるものを導入している。
- ウ 作物別・作型別の単位当たり収量水準は、試験研究成果及び認定農業者等の担い手農家の収量水準等、達成可能な目標収量としている。

#### (2) 基準技術の内容

長崎県の主要品目を主作目とする「経営類型（所得 600 万と 1000 万の 2 タイプ）」と「単一品目（作型）」に関する「経営規模、家族労働力、資本装備、生産技術・作業体系と月別労働時間」及び単位当たり（10 a 当たり、1 頭当たり等）の「経営収支、投下労働時間」を示す。

#### (3) 価格水準等

価格は、原則として、対象作物の主産地の主要出荷市場の 5 年間の価格のうち、最高と最低を除いた 3 年間の平均価格を採用する。

なお、品目によっては出典を明記することを条件に、優良事例（組織・集団等）の数年間の平均値を採用することも認めている（詳細は「5. 作型別・作物別の価格水準」に記載）。

### 3. 農林業基準技術の活用

#### (1) 改善技術案の作成

各振興局は技術実証ほの成果に基づき技術課題を把握し、基準技術に準じ改善技術案を作成する。(長崎県農林業技術の確定並びに普及要項4(2)イ(7)p.831)

#### (2) 「営農類型試算プログラム4」

認定農業者を中心とした農業経営の設計や地域農業振興計画を策定する場合に必要な「営農類型策定」作業を行う際に、本基準技術のデータを収録した「営農類型試算プログラム4」を用いる。なお、本プログラムは作目・品目の組み合わせ、規模、労働力、生産量、市場単価などの営農条件を自由に変化させ、目標とする営農類型(計画案)を作成できる Excel ベースの試算ツールである。

表1 新たに取り入れた品種、生産・飼養管理技術

部門	品目名	内容	品種・技術導入による効果	省力・低コスト	新品種新作業	環境保全	収量品質向上	技術導入モデル		
								600万 営農 類型	1000 万営 農 類型	単一 品目
普通作	水稻	新技術導入	高密度播種技術導入による育苗コスト削減	○				○	○	○
		新技術導入	直進アシスト田植機導入による田植え作業の省力化と代かき時の水落としの省略による環境保全	○		○		○	○	
		新技術導入	直進アシストトラクター導入による耕起・播種・中耕作業の省力化	○				○	○	
		新技術導入	ドローン導入による省力防除	○					○	
野菜	ばれいしょ	新技術導入	産業用無人ヘリ、ドローンによる省力防除、乗用植付機（植付同時条施肥）による省力化	○				○		○
	いちご	新技術導入	統合環境制御技術導入による収益向上				○	○	○	
	いちご	新品種の導入	新品種導入による省力化	○	○					○
	なす（促成）	新技術導入	統合環境制御技術導入による収益向上				○			○
花き	輪ぎく	新技術導入	環境制御技術による収益向上				○	○	○	
		新技術導入	日射比例灌水技術導入による省力化	○			○	○	○	
		新技術導入	環境制御技術による植物調整剤使用量削減	○		○		○	○	
	カーネーション	新技術導入	ヒートポンプ導入による光熱費の低減	○				○	○	
	ばら	新技術導入	環境制御技術による収益向上				○	○		
	トルコギキョウ	新技術導入	LED電照導入による光熱費の低減	○				○	○	
	小ぎく	新品種の導入	長崎オリジナル品種による種苗費削減及び単価向上	○	○					○

部門	品目名	内容	品種・技術導入による効果	省力・低コスト	新品種新作型	環境保全	収量品質向上	技術導入モデル		
								600万営農類型	1000万営農類型	単一品目
果樹	みかん	新技術導入	ドローンによる省力防除	○				○		
	みかん	新技術導入	S. マルチの導入による高品質果実生産				○	○		
	みかん	新技術導入	ブレ選果機導入による家庭選果の簡素化による省力化	○				○	○	
	みかん	新技術導入	堆肥ペレット入肥料による肥料コスト削減	○				○	○	
	中晩柑	新品種の導入	「津之望」導入による高品質果実生産		○		○		○	
	中晩柑	新技術導入	一発肥料使用による労力軽減	○				○	○	
	びわ	新品種の導入	「はるたより（ハウス）」導入による高品質果実生産		○		○	○		
	なし	新品種の導入	「あきづき」導入による高品質果実生産		○		○			○
	ぶどう	新品種の導入	「シャインマスカット」導入による高品質果実生産		○		○			○
工芸作物	茶	新技術導入	気温差制御防霜ファンの導入によるコスト削減	○				○	○	
	葉たばこ	新技術導入	エコ乾燥機による燃料費削減	○				○		
家畜	酪農	新技術導入	移行乳等を活用した子牛哺乳 ICT機器による発情分娩疾病通知	○				○	○	
	肉用牛繁殖	新技術導入	子牛育成前期の濃厚飼料多給による増体 ICT機器による発情分娩通知	○	○		○	○	○	
	肉用牛肥育	新技術導入	長崎型新肥育技術(メス) 監視カメラによる事故防止	○	○		○	○	○	
	肉用牛一貫	新技術導入	子牛育成前期の濃厚飼料多給による増体 ICT機器による発情分娩通知 長崎型新肥育技術(メス) 監視カメラによる事故防止	○	○		○		○	
	養豚	新技術導入	ICT機器による体重測定	○	○	○	○		○	
	採卵鶏	新技術導入	誘導換羽による供用年数延長	○	○	○	○		○	
	ブロイラー	新技術導入	LED色調調整による生産性向上 アミノ酸配合入り飼料	○		○	○	○	○	
	コントラクター	新技術導入	飼料稲WCS専用品種 ドローン播種(イタリアン)	○	○		○		○	

4. 部門別の経営類型と単一品目（作型）

(1) 普通作部門

「経営類型(所得600万)」

(単位:a、人)

経営類型		経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	個別経営Ⅰ	1,000	400	600	2.0	水稻400a、麦類1000a、大豆600a
2	集落営農組織Ⅰ	2,000	0	2,000	4.0	水稻2000a、ブロッコリー350a

「経営類型(所得1000万)」

(単位:a、人)

経営類型		経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	労働力	備考
1	集落営農組織Ⅱ	2,000	0	2,000	3.0	水稻1000a、麦類2000a、大豆1000a
2	集落営農組織Ⅲ	3,000	0	3,000	4.0	水稻1500a、麦類3000a、大豆1500a
3	集落営農組織Ⅳ	5,000	0	5,000	6.0	水稻2500a、麦類5000a、大豆2500a
4	集落営農組織Ⅴ	2,050	0	2,050	4.0	水稻1000a、麦類2000a、大豆1000a アスパラガス50a

「単一品目」

(単位:a、人)

品目		当該品目の栽培面積	家族 労働力	備考
1	早期水稻(つや姫)	400	2.0	経営耕地面積800a
2	普通期水稻(なつほのか)	400	2.0	" 800a
3	小麦(長崎W2号)	800	2.0	" 800a
4	大麦(はるか二条)	800	2.0	" 800a
5	大豆(フクユタカ)	400	2.0	" 800a
6	飼料用米(専用品種)	400	2.0	" 800a

(2) 野菜部門

「経営類型(所得600万)」

(単位:a、人)

区分	経営類型	経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
露地栽培	1 露地野菜専業Ⅰ	400	200	200	3.0	ばれいしょ400a、にんじん200a
	2 露地野菜専業Ⅱ	350	250	100	3.0	にんじん300a、だいこん150a、はくさい50a
	3 露地野菜専業Ⅲ	530	250	280	3.0	ばれいしょ750a、早出したまねぎ30a
	4 露地野菜専業Ⅳ	680	260	420	3.0	ばれいしょ80a、レタス600a
	5 露地野菜専業Ⅴ	500	500	-	3.0	ブロッコリー600a
施設栽培	6 施設野菜専業Ⅰ	30	30	-	3.0	いちご30a
	7 施設野菜専業Ⅱ	40	40	-	3.0	トマト40a
	8 施設野菜専業Ⅲ	30	30	-	3.0	きゅうり30a
	9 施設野菜専業Ⅳ	50	50	-	3.0	アスパラガス50a
	10 施設野菜専業Ⅴ	40	40	-	3.0	ミニトマト40a

## 「経営類型(所得1000万)」

(単位:a、人)

経営類型			経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
露地	1	露地野菜専業Ⅵ	700	600	100	4.0	ブロッコリー1000a
施設	1	施設野菜専業Ⅵ	50	50	-	3.5	いちご50a
	2	施設野菜専業Ⅶ	80	80	-	4.0	トマト80a
	3	施設野菜専業Ⅷ	60	60	-	4.0	ミニトマト60a

## 「単一品目」

(単位:a、人)

品目		当該品目の栽培面積	家族 労働力	備考
1	いちご(株冷 地床)	10	2.0	経営耕地面積150a
2	いちご(普通 地床)	10	2.0	" 150a
3	いちご(普通 高設)	10	2.0	" 150a
4	トマト抑制	30	2.0	" 150a
5	なす促成	20	2.0	" 150a
6	きゅうり半促成	20	2.0	" 150a
7	きゅうり夏秋	20	2.0	" 200a
8	すいか半促成	50	2.0	" 150a
9	すいか早熟	40	2.0	" 200a
10	小玉すいか	40	2.0	" 200a
11	アムスメロン(半促成)	30	2.0	" 150a
12	ネットメロン(夏作)	30	2.0	" 150a
13	ネットメロン(秋作)	20	2.0	" 150a
14	かぼちゃ(早熟)	80	2.0	" 200a
15	かぼちゃ(抑制)	50	2.0	" 200a
16	にがうり半促成	30	2.0	" 150a
17	スイートコーン	30	2.0	" 200a
18	冬キャベツ	60	2.0	" 200a
19	秋冬はくさい	50	2.0	" 200a
20	にら(半促成)	20	2.0	" 150a
21	ほうれんそう(露地雨除け)	10	2.0	" 200a
22	いんげん(半促成)	10	2.0	" 150a
23	いんげん(抑制)	10	2.0	" 200a
24	えんどう(スナップ:露地)	10	2.0	" 200a
25	えんどう(スナップ:半促成)	10	2.0	" 150a
26	えんどう(スナップ:加温)	10	2.0	" 150a
27	そらまめ(露地)	30	2.0	" 200a
28	ばれいしょトンネル	50	2.0	" 200a
29	普通たまねぎ	60	2.0	" 200a
30	しょうが半促成	50	2.0	" 150a
31	白ねぎ	60	2.0	" 200a
32	オクラ	10	2.0	" 200a
33	たまねぎ(加工・業務用)	100	2.0	" 200a
34	たかな(加工・業務用)	100	2.0	" 200a

## (3) 花き部門

「経営類型(所得600万)」

(単位: a、人)

経営類型		経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	輪ぎく専業	60	60	0	3.0	輪ぎく のべ130a
2	カーネーション+ガーベラ	50	50	0	3.5	カーネーション 40a、ガーベラ 10a
3	ばら専業	50	50	0	3.0	ばら 50a
4	トルコギキョウ	50	50	0	2.0	トルコギキョウ 50a

「経営類型(所得1000万)」

(単位: a、人)

経営類型		経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	輪ぎく専業	75	75	0	3.0	輪ぎく のべ160a
2	カーネーション+ガーベラ	80	80	0	3.5	カーネーション 40a、ガーベラ 40a
3	トルコギキョウ	70	70	0	2.0	トルコギキョウ 70a

「単一品目」

(単位: a、人)

品目		当該品目の栽培面積	家族 労働力	備考
1	きんぎょそう	10	2.0	経営耕地面積100a
2	ストック(スプレー)	10	2.0	" 100a
3	ひまわり	10	2.0	" 100a
4	小ぎく(7~8月出荷作型)	10	2.0	" 100a
5	ほおずき	10	2.0	" 100a
6	ラナンキュラス	10	2.0	" 100a
7	アスター(8月出荷)	10	2.0	" 100a
8	デイスパットマム(12月出荷作型)	10	2.0	" 100a
9	デイスパットマム(9月出荷作型)	10	2.0	" 100a

## (4) 果樹部門

「経営類型(所得600万)」

(単位: a、人)

経営類型		経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	かんきつ専業経営Ⅰ	300	180	120	2.5	露地、SS防除体系
2	かんきつ専業経営Ⅱ	200	160	40	2.0	露地、動噴防除体系
3	かんきつ専業経営Ⅲ	230	184	46	2.0	露地、ドローン防除体系
4	かんきつ専業経営Ⅳ	60	60	0	2.5	ハウス、動噴防除体系
5	びわ複合経営	200	165	35	2.5	びわ主体、露地動噴防除体系

「経営類型(所得1000万)」

(単位: a、人)

経営類型		経営耕地 面積	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	かんきつ専業大規模経営	500	300	200	3.0	露地、SS防除体系

「単一品目」

(単位: a、人)

品目		当該品目の栽培面積	労働力	備考
1	なし(露地 幸水、豊水、あきづき、新高)	150	2.5	経営耕地面積150a
2	ハウスもも(加温、無加温)	40	2.0	" 150a
3	ぶどう(加温、無加温、露地、シャインマスカット)	60	2.0	" 150a
4	いちじく(無加温、露地)	40	2.0	" 150a
5	キウイフルーツ(露地)	20	2.0	" 150a

(5) 工芸作物部門

茶部門

「経営類型(所得600万)」

(単位: a、人)

経営類型	経営耕地 面積	うち		家族 労働力	備考
		自作地	借入地		
1 茶専業(乗用型)	650	650	—	2.5	

「経営類型(所得1000万)」

(単位: a、人)

経営類型	経営規模	うち		家族 労働力	備考
		自作地	借入地		
1 茶協業(乗用型)	2,000	2,000	—	4.0	

「単一品目」

(単位: a、人)

品目		当該品目の栽培面積	労働力	備考
1	茶(乗用型-共同利用)	300	1.5	経営耕地面積300a

葉たばこ部門

「経営類型(所得600万)」

(単位: a、人)

経営類型	経営規模	うち		家族 労働力	備考
		自作地	借入地		
1 葉たばこ(第1黄色種)	250	250	0	3.0	

## (6) 家畜部門

「経営類型(所得600万)」

(単位:頭、羽、人)

経営類型		経営規模	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	酪農(つなぎ牛舎)	44頭	56a	350a	2.0	
2	肉用牛(繁殖牛)	35頭	65a	200a	2.0	
3	肉用牛肥育(黒毛 去勢)	200頭	-	-	2.0	
4	ブロイラー專業	47000羽	-	-	2.0	

「経営類型(所得1000万)」

(単位:頭、羽、人)

経営類型		経営規模	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	酪農(フリーストール牛舎)	120頭	261a	850a	3.0	
2	肉用牛繁殖專業	80頭	296a	200a	2.0	
3	肉用牛肥育(黒毛 去勢)	300頭	-	-	2.0	
4	肉用牛一貫	繁殖50頭 肥育70頭	64a	250a	2.0	
5	養豚一貫專業	母豚 200頭	-	-	3.0	
6	採卵鶏專業	65000羽	-	-	2.0	
7	ブロイラー專業	80000羽	-	-	2.0	
8	コントラクター	3000a	-	2000a	3.0	飼料稲WCS1000a、イタリアンライグラス2000a

## (7) 林業部門

「経営類型(所得600万)」

(単位:人)

経営類型		経営規模	うち 自作地	うち 借入地	家族 労働力	備考
1	ひのき+しいたけ	人工林20ha	山林 20ha	-	3.0	

## 5. 作型別・作物別の価格水準

価格は、対象作物の主産地の主要出荷市場の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を原則的に採用し、以下の品目については下記により価格算定している。

### (1) 野菜部門

いちご、アスパラガスは全農長崎取り扱いの5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

ばれいしょ、にんじん、はくさい、だいこんは主要市場の10ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、8年間の平均価格を採用している。

### (2) 花き部門

ア 輪ぎく、トルコギキョウ、アスター、きんぎょそう、ストック、ひまわり、小ぎくは全農長崎取り扱いの5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

イ カーネーション、ガーベラ、ほおずきについては、県内主要生産者（生産組織）の販売単価の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

### (3) 果樹部門

ア 極早生温州、早生温州、普通温州は、東京都中央卸売市場（H30～R4）の販売単価の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

ただし、「させぼ温州」は、全農長崎取り扱い販売単価の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

また、「津之望（露地）」は、全農長崎取り扱い販売単価の3年間の平均価格を採用している。

イ ハウスみかん（6月出荷型、グリーン、無加温越冬完熟）、不知火（加温、無加温）、せとか（加温）は、東京都中央卸売市場（H30～R4）の販売単価の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

ウ ハウスびわ、および露地びわ（なつたより含む）は、全農長崎（H31～R5）取り扱い販売単価の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

エ なし、ハウスもも、ぶどう、いちじく、キウイフルーツは、東京都中央卸売市場（H30～R4）の販売単価の5ヶ年間の価格のうち、最高と最低を除いて、3年間の平均価格を採用している。

### (4) 工芸作物部門

茶単価は、荒茶価格は西九州茶流通センターの5カ年間の価格のうち、最高と最低を除いた3年間の平均。小売価格は県内主要生産者の小売り・相対単価の5年間の価格のうち、最高と最低を除いた3年間の平均価格を採用している。